

木造阿弥陀如来立像 1 軀

木造阿弥陀如来立像

もくぞうあみだによらいりゅうぞう

分野／部門

有形文化財／美術工芸品〔彫刻〕

所有者

宗教法人 光源寺(こうげんじ)

所在地

大阪市東住吉区東田辺 2-21-3

紹介



木造阿弥陀如来立像(光源寺)

真宗大谷派の寺院の本尊としてまつられる、来迎印(らいごういん)を結ぶ像高 74.1 センチメートルの玉眼像(ぎょくがんぞう)で、寛正 3 年(1462)の銘記がある。造立銘とみられ、制作は 15 世紀にさかのぼると考えられる。市域に伝来する優れた中世の彫刻のひとつである。